## 最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート (令和2年度選定小委員会報告)

<評価>

施設名 練馬文化センターおよび大泉学園ホール 優: 特筆すべき実績・成果が認められるもの 良: 管理運営が良好と認められるもの 良: 管理運営が良好と認められるもの 要改善: 一部において改善を要する点が見受け られるもの

## 評価項目および評価の視点 評価 評価理由・改善すべき点等 ・個人情報保護に関する規程等、区の条 例に準拠した規程を設け、必要な措置を 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報 講じている。 公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか ・労働環境に関する法令を遵守してい 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に 関する法令等を遵守しているか ・労務環境調査で指摘された契約社員の 艮 ・労務環境調査の指導・助言事項について必要な対策を講じたか 年次有給休暇の付与日数不足等につい て、日数を改めるなど即時に改善した。 ・練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行ってい ·練馬区環境マネジメントシステムの趣旨 るか を踏まえた施設管理を行っている。 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等 ・経理等は、規程に基づき適切な処理お について、適正な処理および管理を行っているか よび管理を行<u>っている</u> 施設運営体制 ・施設利用における区民を優先した抽選 ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 制度を導入する等、サービス水準の向上 に取り組んだ。 ・計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか ・アートマネジメント等、専門的な研修の ・利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 受講により職員の育成に努めた。 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速 ・車いす利用案内図の作成等に取り組 に対応しているか み、だれもが利用できるように配慮した運 | 営を行った。 ・施設の利用状況は良好か ・ホール稼働率は、文化センター79.5%、 ・利用者アンケート等の評価は良好か 大泉学園ホール91.3%と高い。 ・練馬文化センター等利用者懇談会の評価は良好か ・利用者アンケートの満足度は、練馬文 化センター85.3%、大泉学園ホール90.4% と良好である。 ・懇談会では、施設の管理運営について 良好な評価であった。 施設の維持管理・安全性への配慮 計画的に保守点検を行い、備品も台帳 ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか により適切に管理している。 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措 ・施設に不具合が生じた際には区に報告 の上、適切に対応している。 置を講じているか ・「興行中止保険」等の損害保険に適切 ・管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか に加入し、不測の事態に対応している。 損害保険等の加入状況は適切か 効率的な管理運営 ・職員が2施設を兼務することで効率的か つ柔軟性のある施設管理を行っている。 ・効率的な人員配置がされているか ・事業計画書どおり、事業を実施した。 業務の再委託における範囲は適切か Ⅰ・概ね収支計画どおり、予算を執行した。 ・事業計画書どおり事業が実施されているか ・美術館等と連携し、各施設の事業をまと ・収支計画どおり予算が執行されたか めた広報誌を発表する等、効率的・効果 その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 的な広報活動を行った。 施設特性に応じた管理運営 ・音楽、伝統文化等、幅広い分野の公演 公演事業等の工夫により、集客に努めているか 企画を指定期間中を通して実施した。 ・提案によるバックステージツアーや避難 事業者の提案に基づ〈取組が効果的に行われているか 訓練コンサートを実施した。 ・美術館、石神井公園ふるさと文化館との施設間連携による魅力向 ・美術館、石神井公園ふるさと文化館の 上の取組を進めているか 企画展と連携した事業を企画し、施設間 連携による魅力向上に取り組んだ。 ・区内雇用の促進に努め、修繕や消耗品 地域への貢献 について、積極的に区内業者から調達し 区内雇用の促進を図っているか ている。 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか ・地元商店街と連携し、主催公演のチ ・物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか ケット半券を提示すると公演当日に協賛 ・地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行 店でサービスを受けられる等の取組を実 われているか 施している。

## 総合評価 (講評)



・項目全般について区が求める基準を満たしており、ホールの抽選における区民優先の導入等、サービス水準の向上に積極的に取り組んでいる。外郭団体として区の方針を理解し、公益財団法人として公益性・柔軟性を発揮しながら、文化芸術施設の一体的管理運営を適切に行っている。